

「働く広場」 掲載

編集委員が 行く

沖縄・宮古島 「社会福祉法人みやこ福祉会」
伊志嶺理事長は走り続ける

本社編集委員 山崎新報社社会事業部 専務理事 阪本文雄

社会福祉法人みやこ福祉会 みやこ学園
〒906-0013 沖縄県宮古島市宇良字下道3107-043 TEL 0980-73-7770 FAX 0980-74-2338
障害者就業・生活支援センター みやこ
TEL 0980-79-0451 FAX 0980-75-3450

編集委員から
沖縄の青い海は美しい。障害を持つ人たちに就労の場を——と
福島のみやこ福祉会の人たちは覚えていた。働く場が限られる
島。その悪条件に負けず、諦めず、粘り強く、取り返していた。
ノドをこがすように熱かった海風のように。兄弟姉妹の命の救済。
自宅での福祉作業所の開設、社会福祉法人の申請、金額だった知的
障害者の通所授産施設の開設、パン工場、野菜ランドと相次いで働く
場を作り、グループホーム、就業・生活支援センターと1つのラ
インができた。トップランナー伊志嶺理事長の奮闘の軌跡をたどる。

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の広報誌「働く広場」(8月号)の編集委員が行くコーナーでみやこ福祉会が紹介されました。このコーナーは実際に編集委員自らが現場に行き取材先の活動や取り組みを直に感じることで読者にできるだけの情報をお伝えする人気コーナーです。当法人にも阪本編集委員と小山カメラマンが取材に訪れ当法人が行っている各事業(みやこ学園、アダナス、野菜ランドみやこ、グループホームみやこ、障害者就業・生活支援センターみやこ)をプロの目から詳しく取材していただきました。本誌の中でみやこ福祉会の誕生から歩んで来た道のりや現在の事業体系、作業の中での取り組みや日常みんなが頑張っている姿等を生きた写真と人々を惹きつける文章とで6ページに渡り掲載されていますので是非ご覧下さい。尚、記事はインターネットで独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構と検索し、「働く広場」のコーナーでご覧いただけますので宜しくお願いします。

学園だより
メールアドレス
miya-gaku@cronos.ocn.ne.jp

平成 23 年
第 119号
8 月 発行
社会福祉法人 みやこ福祉会

障害者支援講演会

「小倉義一氏」
理事長 伊志嶺博司

先月29日に、みやこ学園にて障害者支援講演会を開催しました。講師にフィリピンのダバオで障害者や戦争孤児、身寄りのない子供達30名余を支えている小倉義一氏(長門屋社長)を迎えて行いました。小倉氏は元丸紅の職員で、その当時に仕事で世界70カ国を訪問した時の各国々の宗教や治安の考え方の違いなど、その国に行かないと理解しにくいようなエピソードをわかりやすく話してくれました。ダバオでは障害者と共に大規模農園を経営しており、マンゴー・ココナツ・バナナ・パイナップルなどを栽培し、それらを市場などで売った代金で、子供達の学費や生活費に充てているとの事。又、彼等の生活の安定と終身の幸せな生き方を願いとし彼等のもつ能力を引き出し、生かせる場所の確保として、農園の近辺に3カ所の家を建設し数名で居住させている。

昨今の日本では、障害者にも負担を求める障害者自立支援法を18年10月に施行しました。この障害者自立支援法は、これまで無料か低額だった障害者の福祉サービスに原則一割の定率負担を持ち込みました。小倉氏のダバオでの活動を拝聴する中で、障害者である前に一人の人格を持ったかけがえのないこの人達が、どんな暮らしがしたいのかに答えることがもっとも大切な事だと話されました。みやこ福祉会も障害者本人の「こうしたい・こうありたい」をニーズと受け止め、目に見える形で地域の環境を早急に整備して行きたいと思えます。

これまで、いろいろな経験をして来た小倉氏の貴重な話が聞け、宮古島に於いても障害者やその親にとって「ここで生まれて良かった」「この地域で生んで良かった」と双方が思えるような地域社会を構築出来ればと改めて思いました。



救命講習会

生活支援員：上地美奈子

去った7月20日(水)宮古島消防署の救急救命士を含め3人の消防隊員に来ていただき、救急講習会がみやこ学園に於いて実施されました。現場に居合わせた人が出来るだけ早く必要な応急処置をすることで一つの命を救える重要さを教えていただきました。倒れている人の意識確認 → 周囲に助けを求める(119番通報やAEDの手配など) → 気道の確保・呼吸の確認 → 人工呼吸2回(省略可) → 胸骨圧迫(心臓マッサージ30回) → AEDによる電気ショック という一連の処置方法を美男美女(?)の人形を使って訓練。いつでも勇気をもって実施できるよう、日頃から繰り返し訓練をすることがいかに大切か再認識させられました。消防隊員のみなさんお忙しい中、本当にありがとうございました。



委託訓練「しごと準備講座」スタート

支援課長：瀬名波正敏

今年度もみやこ福祉会において、沖縄県より障害者の態様に応じた多様な委託訓練(しごと準備講座)を受託することになり、8月1日(月)より訓練が開始致します。

今年度は5名の障害を持った方が受講します。期間は8月1日より10月31日までの3ヶ月間です。内容は「社会で働きたい!もっと働き続けたい!」を実現する為に、職場での基本的なルール、マナーを学ぶとともに、企業実習を通して就職に対する意識を身につけ、基本的な生活習慣から安定した就労生活が送れるような意識を習得する為の訓練です。

この訓練を通して、一人でも多く障害を持った方が就職できるように取り組んでいきたいと考えております。皆様のご支援ご協力も宜しくお願い致します。



8月の行事予定



1	月	しごと準備講座入校式
2	火	JTAうちわ贈呈
3	水	職務会議
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	工賃支給日・職務会議
11	木	
12	金	
13	土	旧盆
14	日	旧盆
15	月	
16	火	
17	水	職務会議
18	木	
19	金	みやこ学園夏まつり
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	職務会議
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	施設内健康診断・職務会議

お誕生日おめでとう

☆ ☆ 8月生 ☆ ☆



砂川絵美さん

★ 砂川絵美さん (30歳)
笑顔がキュートな絵美さん ♥ 30歳のお誕生日おめでとうございます。とっても頑張り屋さんでパンの包装作業も丁寧にこなしてくれます。これからもアダナスで仲良くお仕事がんばっていきましょうね。

生活支援員：平良明美



謝敷猛春さん

★ 謝敷猛春さん (20歳)
20歳の誕生日おめでとうございます。室内班でラスク詰め、チリ紙たたみ等いろいろな作業をこなしています。手先が器用で何事も丁寧に取り組んでくれます。若きパワーで作業だけでなく何事にも挑戦して共に頑張っていきましょうね。

職業指導員：上里美恵子



谷村泰子さん

★ 谷村泰子さん (31歳)
現在、実習先の野菜ランドみやこでほうれん草の配達&シーラー作業を行っています。すっかり仕事にも慣れてきて今や「シーラーの泰子」と呼ばれるまでになっています。気分的な波はありますが、笑顔がステキな泰子さん。何事にも積極的に頑張りますよ。お誕生日おめでとうございます。

職業指導員：上里美恵子



池村美保さん

★ 池村美保さん (24歳)
野菜ランドみやこ内ではトップアイドル！いつもにこにこ、ちょっとおっちょこちょいだけど下葉取り作業もきれいでとても早い。次回アイドル総選挙では負けませんよ！美保さんの笑顔がいつまでも続きますように応援しています。お誕生日おめでとうございます。

生活支援員：黒澤由香

「みやこ学園夏まつり」
日時：8月19日(金)6:30~9:00
場所：山中農村公園(みやこ学園西隣り)



地域交流会

就業支援員：知念 聡

7月17日(日)みやこ学園近隣の山中自治会の皆さん、みやこ福祉会役員、親の会及び職員との交流会を行いました。山中農村公園にて、グランドゴルフを行い、山中自治会からは20名、みやこ福祉会の役員、親の会、職員合わせて25名ほどの参加があり予想以上の参加でかなりの賑わいがありました。皆さんとグラウンドゴルフをしながら地域の様子、みやこ福祉会の行事の話等伝えることができ良かったです。休憩時にはアダナスのパンがアイスコーヒー、麦茶と共にかかる大盛況で良い宣伝になりました。今後もこのような機会を設け懇親を深めていきたいと思っております。大盛況の交流会となり満足しています。皆様お疲れ様でした。

宮古特別支援学校PTAより「講師として」

障害者就業・生活支援センターみやこ 所長 神里裕丈

去った7月22日(金)宮古特別支援学校「PTA進路講話」にて、みやこ学園親の会本永安子会長と共に私、神里、久々に講話を務めさせていただきました。「PTA進路講話」は、2つの目的として「進路講話をとおして、卒業後の進路について考える機会とする。」「宮古島の障害福祉の現状について学ぶ機会とする」を掲げられ、宮古特別支援学校保護者、同校生徒、同校教職員の皆様を対象に行われました。PTAの皆さんから「卒業に向けてどのように取り組めばよいのか」「卒業後はどうしたらよいのか」という声が多くあるとの事で、内容としては、「①卒業後の進路として、②就業支援制度について、③支援を通して感じる事、④卒業前に準備して頂きたいこと」といった事をお伝えしました。また、質疑ではジョブコーチの利用の仕方についての質問があり、就労支援についてのニーズの高さを伺うことも出来ました。

また、本永会長からは、「親としての立場から」として、自らの子育て奮闘記をお話いただき、「本人の「頑固」は頑固ではなく、「意志が強い」としてとらえると良い」、「本人達には得意なことが必ずあるので、そこを見つけてあげることが大切!」と力強いお言葉で、学ばせて頂きました。やはり、本永節で笑いの多い講話を楽しみながら聞かせて頂きました。

今回は、私も貴重な体験をさせて頂きまして、PTAの皆様、特別支援学校の先生方には感謝申し上げます。私もさらに皆様からの御指導をいただきながら、励んでいきますので、ご指導ご協力等を宜しくお願い致します。



講話を終えて!



講話中の神里所長



会場内の聴衆の皆さん